

平成 30 年度岩手県立大学公開講座・滝沢キャンパス講座 概要集

No.	月日	時間	テーマ等
1		10:15 ～ 11:45	<p>【講義テーマ】「これまで」と「これから」の岩手県立大学</p> <p>【講師】岩手県立大学 学長 鈴木 厚人</p> <p>【概要】本学は、県民の皆様の大きな期待と熱意により開学しました。以来、地域に根ざした実学・実践による教育・研究・地域貢献活動を推進し、知の拠点として着実に実績を上げ、約1万2千人の人材を輩出してきました。そして、開学20周年の節目にあたり、少子高齢化、グローバル化、高度情報化などが複雑に交錯する現代社会において、地に根を張り、人間を直視し、教育力、研究力を含む大学力の更なる向上と強化に取り組みます。</p>
2	7/21 (土)	13:00 ～ 14:15	<p>【講義テーマ】看護学部における専門職育成のあゆみ ～過去、現在、そして未来へつなげるために～</p> <p>【講師】看護学部 学部長(教授) 武田 利明</p> <p>【概要】平成10年の開学以来、看護学部では医療専門職(看護師・保健師・助産師)と教育職(養護教諭・高等学校教諭)の人材育成に取り組んでいます。特に県内の多様な場で活躍している卒業生を紹介し20年の足跡をたどります。教育も一層充実し、県内病院の看護師(卒業生)や地域住民の協力を得た看護技術演習も取り入れており、教育の特徴にもなっています。総合大学のメリットを活かすため、看護技術に関する学部を超えた連携研究も積極的に進めています。得られた研究成果の看護学教育での活用や、臨床現場への応用について考えを述べたいと思います。</p>
3		14:45 ～ 16:00	<p>【講義テーマ】くらしの中の「情報」のサイエンス ～スマート社会を生きるための「情報」のすすめ～</p> <p>【講師】ソフトウェア情報学部 学部長(教授) 猪股 俊光</p> <p>【概要】IoT(モノのインターネット)、ロボット、人工知能(AI)、ビッグデータなどの先端技術の発達により、スマート社会が実現されようとしています。スマート社会では「情報」の活用能力が求められます。この情報とは何なのでしょう。情報は、長さや重さのように測ることができるのでしょうか。あるいは、情報を加えたり、分けたりできるのでしょうか。この講義では、くらしの中に潜む情報を取りあげながら、情報のもつ特性を科学的に解明していきます。</p>
4	7/28 (土)	10:30 ～ 11:45	<p>【講義テーマ】観光とソーシャルメディア ～観光情報の発信、収集、拡散ツールとしてのソーシャルメディアの可能性を考える～</p> <p>【講師】宮古短期大学部 学科長(教授) 大志田 憲</p> <p>【概要】少子高齢化等により定住人口が減っていくなかで、多くの地域が観光によって交流人口を増加させようとしています。また、観光は今後ICT(Information and Communication Technology)の影響を大きく受けると考えられている分野でもあり、国内、海外からの旅行者の多くは、SNSやブログなどのソーシャルメディアを利用して様々な情報を得ていることもわかっています。そこで、本講義では日本、岩手県の観光の現状や観光におけるICT利用について整理し、ソーシャルメディアの中でも利用者の多いTwitterによる県内観光地に関する投稿数なども紹介しながら、これからの観光とソーシャルメディアについて考えていきたいと思います。</p>
5		13:00 ～ 14:15	<p>【講義テーマ】産・学・自治体/NGO 連携研究拠点としての研究・地域連携本部の活動と今後の展開</p> <p>【講師】研究・地域連携本部 本部長 村田 嘉利 (ソフトウェア情報学部 教授)</p> <p>【概要】研究・地域連携本部は、岩手県立大学が法人化された2005年に、「地域連携研究センター」として発足しました。当本部は、地域政策研究センターといわてものづくり・ソフトウェア融合テクノロジーセンター(i-MOS)を中心に、産学共同研究、岩手県と連携した地元企業への技術支援、県内の自治体やNGOと連携した地域の問題解決に積極的に取り組んでいます。本講演では、これまでの主な取り組みや成果について説明した後、今後の取り組みについてご紹介いたします。</p>

※当日の講義においては、内容を若干変更する場合があります。御了承ください。

No.	月日	時間	テーマ等
6	7/28 (土)	14:45 ～ 16:00	<p>【講義テーマ】 県産食品を考える ～県産クルミの特徴を、食品成分から調べてみると～</p> <p>【講師】 盛岡短期大学部 学部長（教授） 千葉 俊之</p> <p>【概要】 クルミは、岩手を代表する食材のひとつです。食文化との関わりも深く、県内にはクルミを利用した郷土料理が多数あり、その種類は、他県を圧倒しています。また、おいしい味の例えとして「くるみあじがする」という言葉もあります。県産クルミが、味わい深いことは、ご存知だと思いますが、意外にも含まれている成分を分析し、その特徴を調べた報告はありませんでした。今回、国内外産クルミを分析して、食品成分からみた県産クルミの特徴を調べましたので、ご紹介いたします。</p>
7		10:00 ～ 12:00	<p>【講義テーマ】 東日本大震災から7年余 ～復興の現状と課題～</p> <p>【講師】 岩手大学 名誉教授 齋藤 徳美 岩手県東日本大震災津波復興委員会・総合企画専門委員会 委員長</p> <p>【概要】 2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）により、岩手県で6千名、全国で2万名近い津波による犠牲者を出しました。岩手県は「安全の確保」・「なりわいの再生」・「暮らしの再建」を柱とする復興計画を策定し、事業を推進してきました。</p> <p>震災から7年余が経過しましたが、復興の現状と課題について紹介し、今後の地域創生の在り方について皆さんと共に考えたいと思います。</p>
8	8/4 (土)	13:00 ～ 14:15	<p>【講義テーマ】 地域とつながり、政策形成と評価に貢献する教育と研究の実践 ～総合政策学部の20年間の活動とこれからの方向性～</p> <p>【講師】 総合政策学部 学部長（教授） 吉野 英岐</p> <p>【概要】 総合政策学部は開学以来、岩手県に立地する公立大学の新しい学部として、地域の発展に資する教育研究活動に力をいれてきました。講座では条例、地方自治、産業、生活、自然環境などさまざまな分野で行ってきた地域志向の研究活動を紹介します。次いで、これからの課題として、岩手県の新しい長期総合計画のキーワードにもなっている「幸福度」について、本学部の複数の教員が参加した研究会での討議を踏まえて、その考え方と活用方法をご紹介します。</p>
9		14:45 ～ 16:00	<p>【講義テーマ】 赤ちゃんが泣き止まぬとき ～共感と苦痛のはざまに揺れ動く養育者のこころ～</p> <p>【講師】 社会福祉学部 学部長（教授） 桐田 隆博</p> <p>【概要】 ヒトの赤ちゃんはなぜ泣くのでしょうか？この当たり前のような事実について、他の動物との比較も交えて考えてみましょう。たとえば、ほ乳類は、その養育形態の観点から2種類に分類できます。ひとつは赤ん坊を巣穴に隠して間歇的に哺乳する種類であり、もうひとつは母親と赤ん坊が常に密着して頻繁に哺乳する種類です。さて、ヒトは本来どちらの仲間なのでしょう。実は、この哺乳形態とヒトの赤ちゃんが泣くことには関連があるのです。まずは、このあたりから考えてみましょう。</p>